

盛岡城 盛岡市内丸1番37号

盛岡城は三戸から不来方(こずかた)の地に居城の移転を決定した南部信直(なんぶのぶなお：盛岡藩初代藩主)が、慶長2(1597)年に嫡子利直(としなお：2代藩主)を総奉行として築城を始めたと伝えられています。北上川と中津川の合流点の丘陵上に本丸・二ノ丸・三ノ丸など曲輪を配し、それぞれに雄大な石垣を構築して内曲輪としています。築城開始から36年後、おおよその完成をみた寛永10(1633)年に南部重直(しげなお：3代藩主)が入城して以降、藩政時代を通じて盛岡南部氏の居城となりました。明治の廃藩置県の後、明治5(1872)年に陸軍省所管となり明治7(1874)年には内曲輪(御城内)の建物の大半が取り壊され城内は荒廃しました。(説明版、旅コト資料)



桜山神社とその祭神案内版(初代開拓、2代安泰、11代学問)と名物の烏帽子岩



説明版

石垣工事中



盛岡城の石垣



盛岡城の石垣



本丸広場



石垣には矢穴が多くある



現存する唯一の建物彦御蔵